



- ▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 8名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 79名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、埼玉医科大学、長崎大学、獨協医科大学、信州大学、浜松医科大学、国際医療福祉大学、琉球大学、高知大学、東京慈恵医科大学、福島県立医科大学、順天堂大学

研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数 7,000 名以上、2 次救急外来患者数は約 7,500 名と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修(内科系、外科系ジェネラリスト)プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム例 さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム / 募集定員: 8名

	1-4 週	5-8 週	9-12 週	13-16 週	17-20 週	21-24 週	25-28 週	29-32 週	33-36 週	37-40 週	41-44 週	45-48 週	49-52 週
1 年目	オリエン テーション	救急			内科					外科		外科系診療科	
2 年目	小児科		産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選択科目				

内科 24 週、救急 12 週、外科 8 週、外科系診療科 4 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修する。外科系診療科 4 週については、外科、麻酔科、整形外科、脳卒中・神経センター、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科のうち 1 科を選択する。選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科、外科、小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修(4 週以上)を行う。地域医療については原則として 2 年目に研修を行う。

■ 研修医の処遇

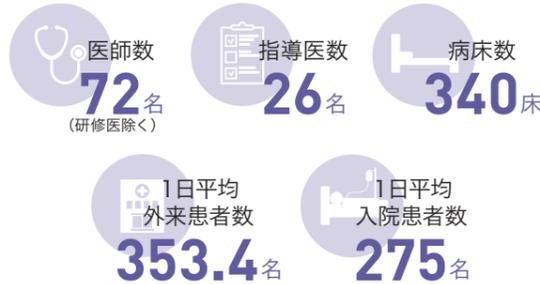
給与	1年目: 40.4万円/月(当直手当含) 賞与93万円/年(実績) 2年目: 45.3万円/月(当直手当含) 賞与161万円/年(実績)	勤務時間	8時30分~17時30分
諸手当	宿日直手当、時間外手当	当直	あり(3~4回/月)
保険	埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険・労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	日曜・祝日・有給休暇 夏季・年末年始休暇
		宿舎	あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 埼玉精神神経センター
- さいたま市立病院
- 南魚沼市民病院
- さいたま北部医療センター
- 小笠原村診療所
- 明医研ハーモニークリニック
- 丸山記念総合病院
- 平陽会いわさきクリニック
- 村上総合病院

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、アレルギー科、内科(化学療法)、外科(化学療法)、麻酔科、救急科

■ 主な認定施設

地域医療支援型病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院

■ 当院の魅力

専門診療と総合診療が融合した指導体制で”軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間7,500台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。「心と命をつなぐホスピタリティ」をモットーに「患者中心の医療を目指す総合医」と「専門的技術と視野を兼ねた専門診療支援」の融合による病院総合医(ホスピタリスト)による医療支援の実践を行っています。内科では当日勤務の全医師が集結し、新入院患者の毎朝カンファレンスを行い、患者の治療方針を議論し、臨床診断プロセスを共有しています。小児科においては埼玉県有数の救急搬送数を誇っており、さいたま市の小児救急輪番病院として地域医療に貢献しています。集約化される小児医療の Common Disease を学ぶことができます。指導医、専攻医、研修医と屋根瓦式の指導体制を敷いており、働き方改革により患者から学ぶ時間が以前より短くなった若い医師にとって理想的な教育環境を提供しています。

女性医師支援

- 短時間勤務制度
- 院内保育の設置
- 当直免除
- 女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学希望の方は、総務課 採用担当までメールにてご連絡ください。



連絡先

病院名 社会医療法人 さいたま市民医療センター
所属 総務課 並木
住所 〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根299-1
TEL 048-626-0011(代表)
FAX 048-799-5146

E-mail soumu@scmc.or.jp
URL https://www.scmc.or.jp
アクセス 大宮駅西口よりバス約20分

研修責任者
から
メッセージ



プログラム責任者
坪井 謙

当院の臨床研修プログラムは深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケアの臨床能力を発揮する医師育成を目指しています。「病気」「けが」「こども」に対して、まず「診る」ことができるジェネラリストとしての医師を育てる研修を提供しています。また、大学病院では経験できない地域に密着した医療を体験できます。そのため、どの専門医プログラムに行っても通用する土台を築くことができ、必ず皆さんの将来的キャリア構築に役立つと思います。豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境になっています。ローテーションに関しては研修医の希望に柔軟に対応しつつも、次のステップに行くために必要な研修のアドバイスをし、より自分の理想に近づけるような研修を提供しています。ぜひ、当院と一緒に働いてみたい人、待っています。

先輩研修医
の声



研修医 2 年目
川端 伸明

内科ローテーションが9クール(約9ヶ月)あり、その間週1~2回救急対応を行います。初療を行った患者さんが入院した場合、病棟での管理も引き続き行い、最初から最後まで診ることができます。また個人的な当院の魅力の一つで病院全体のスタッフの温かさがあります。それが私のこの病院を選んだきっかけでもあります。一度病院にきて当院の雰囲気を感じてみてください。

研修医 2 年目

小杉 奈津実



当院では各内科2ヶ月ずつ、外科2ヶ月、小児科3ヶ月とまとまって研修できるようプログラムされています。2ヶ月目になると自分で主体的に動けるようになり、より興味を持って研修できている実感があります。他の診療科ローテーション中にも活きる知識を身につけることができます。内科ローテーション中は指導医とともに初診外来に携わることも可能です。入院となった場合は担当チームに加わり、退院後のフォローまで患者さんに関わります。患者さんが退院するまでに様々なスタッフの協力が必要であることを肌で学べる点も、これからの医師人生に必要な財産だと思います。当院の研修は将来の希望診療科に関わらず、内科管理をしっかり学びたい方、救急対応力を身に付けたい方におすすめです。